



MINIMAX BUMP

User's manual

English version

SUPAIR-VLD
PARC ALTAÏS
34 RUE ADRASTÉE
74650 ANNECY CHAVANOD
FRANCE

45°54.024'N / 06°04.725' E

RCS 387956790

Revision Indice: 08/11/2017

ミニマックスバンプをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。我々が共通に熱望する「パラグライディング」で、あなたとお伴できることを光栄に思います。

スップエアーは、1984年からフリーフライト・スポーツにおけるアクセサリをデザインし、製造し、販売してきました。スップエアー製品を選ぶことで、あなたは、30年以上にわたる経験、進歩そしてフィードバックの恩恵を享受することが出来ます。我々の信条は:より良い製品を開発し、ヨーロッパに於いて高品質の製造を保ち続けるために、絶え間なく切磋琢磨することです。

あなたが、この取り扱い説明書を、包括的で分かりやすく、そして願わくば楽しく読めると感じてくれることを期待しています。十分注意して読み、その内容を良く理解して下さい。

我々のホームページで、この製品に関する最新の情報を得ることが可能です。お分かりにならないことやご質問がありましたら、お気軽にスップエアー販売店、あるいはファルホークインターナショナル(有)までお問い合わせください。もちろん、 info@supair.comを通して、スップエアー・チーム全員があなたの疑問にお答えすることも出来ます。

多くの安全なフライト、楽しい時間そして幸せなランディングをされることを願っています。

スップエアーチーム

| | | | |
|-------------------------------|----|----------------------------------|----|
| Introduction | | | |
| Technical specifications | | | |
| Harness overview | | | |
| Components | | | |
| Carabiners assembly | | | |
| Bumpair assembly | | | |
| Position setting | | | |
| Pre-Flight control | | | |
| In flight | | | |
| Landing | | | |
| Wash and care of your harness | | | |
| Storage and transport | | | |
| Lifetime | | | |
| Care | | | |
| | 4 | Repair | 13 |
| | 5 | Materials | 14 |
| | 6 | Recycling | 14 |
| | 6 | Environmental friendly practices | 14 |
| | 7 | Warranty | 15 |
| | 8 | Disclaimer | 15 |
| | 9 | Pilot's gear | 15 |
| | 10 | Service Book | 16 |
| | 11 | | |
| | 11 | | |
| | 12 | | |
| | 12 | | |
| | 12 | | |
| | 13 | | |

タンデムの世界へようこそ。

ミニマックスバンプによりあなたは、バンプエアプロテクションを装備するタンデムパッセンジャー用ハーネスを手にしたこととなります。このハーネスはプロフェッショナルによる過酷な使用を想定してデザインされています。

またこのハーネスはソロ用としても使用することができます。

このハーネスにはアンチバランスシステム (ABS) が採用されており良好な減衰と飛行時の安定性をもたらしています。

この取り扱い説明書を読んだ後は、フライトする前に、シミュレーターにぶら下がりハーネスのチェックをして下さい。

注:この説明書を読む上で、3つの重要なアイコンがあります。



アドバイス

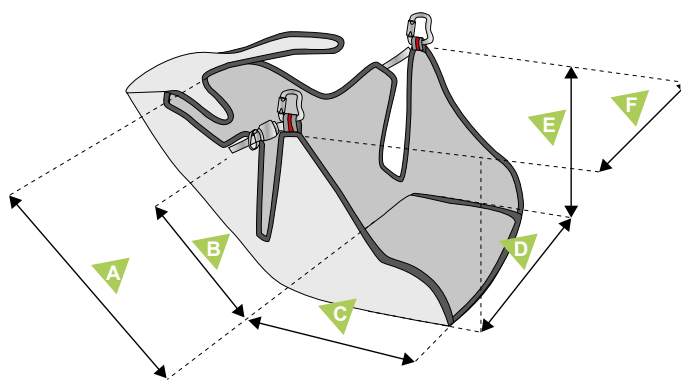


警告!



危険!!

- A** 背もたれ高さ (cm)
- B** リクライニング調節高さ (cm)
- C** シート深さ (cm)
- D** シート幅 (cm)
- E** カラビナ高さ (cm)
- F** カラビナ間距離 (cm)



| | Model |
|------------------------|---------------|
| パッセンジャー身長 | 160-190 cm |
| パッセンジャー体重 | 50-100 kg |
| ハーネス重量(カラビナ含む) | 3190 g |
| 使用目的 | パラグライディング専用 |
| 背もたれ高さ (cm) | 62 cm |
| リクライニング調節高さ (cm) | 34 cm |
| シート深さ (cm) | 47 cm |
| シート幅 (cm) | 38 cm |
| カラビナ高さ (cm) | 44 cm |
| カラビナ間距離 (cm) | 34-47 cm |
| 衝撃吸収システム:エアバッグ (容量) | No |
| 衝撃吸収システム:バンプエアー (厚さ) | yes (17cm) |
| 認証 | EN 1651 - LTF |
| タンデムフライト:パイロットーパッセンジャー | パッセンジャー |
| アクロバットフライト | No |
| トーイング | Yes |
| クイックアウトカラビナ対応 | No |

ハーネスには標準で30mmのカラビナが1セット (2個) 付いています (約138g)。

構成部品

- 1 ハーネス本体
- 2 30 mm オートマチックカラビナ (ジュラ製)
- 3 木製シート B-3737S
- 4 バンプエア-17XC



ハーネス外観図

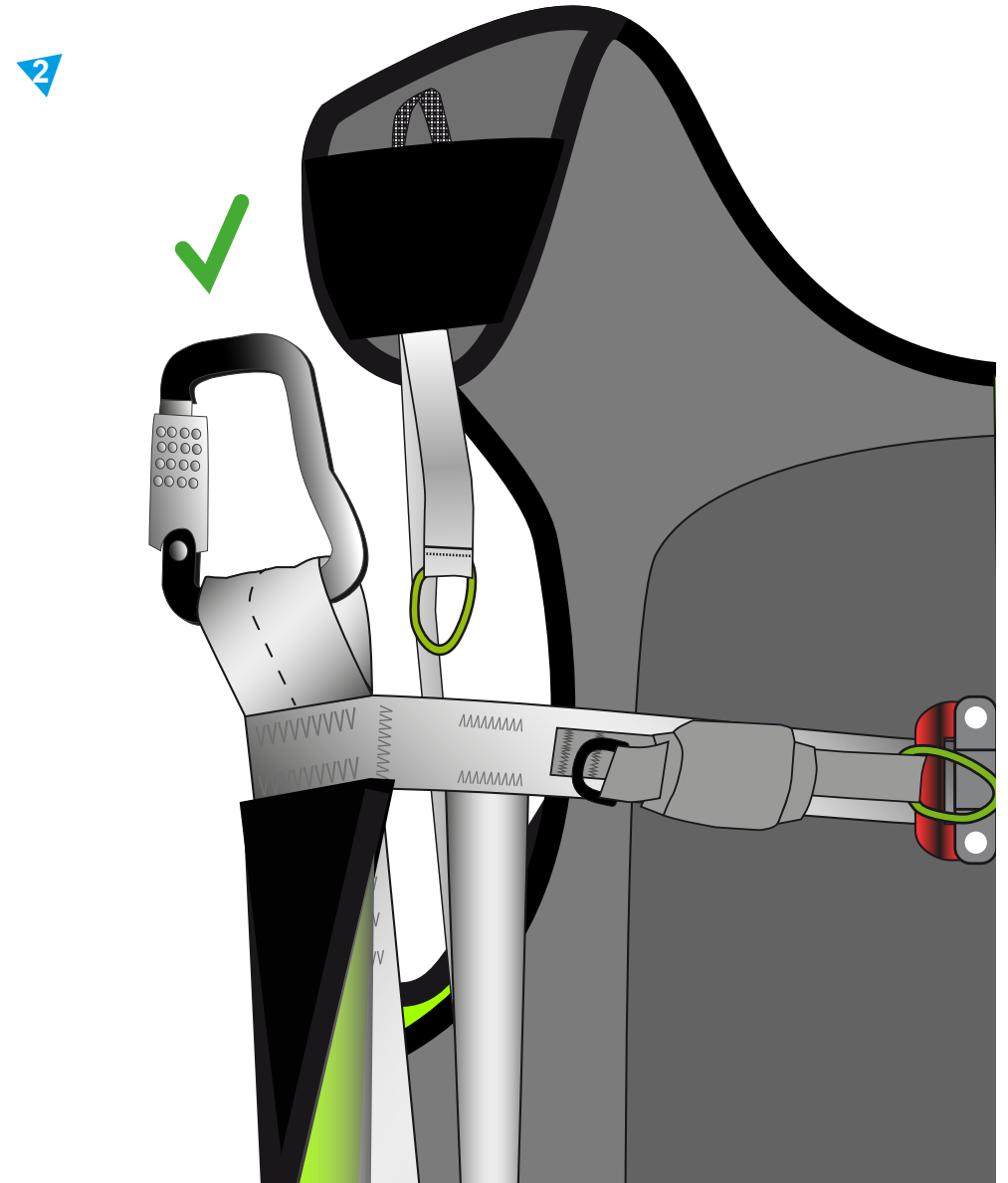
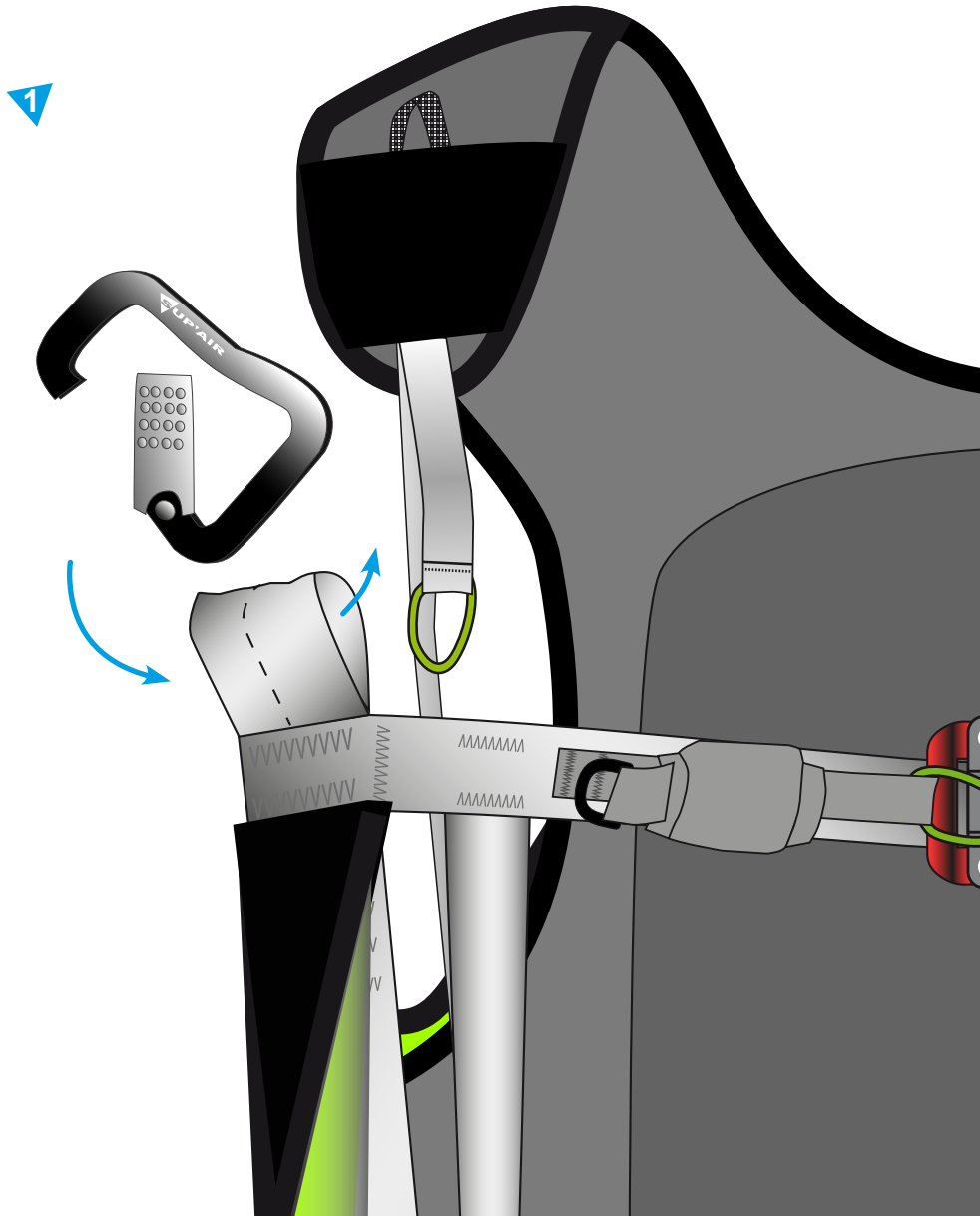
取扱説明書を読むに際しこのイラストを参考にしてください。



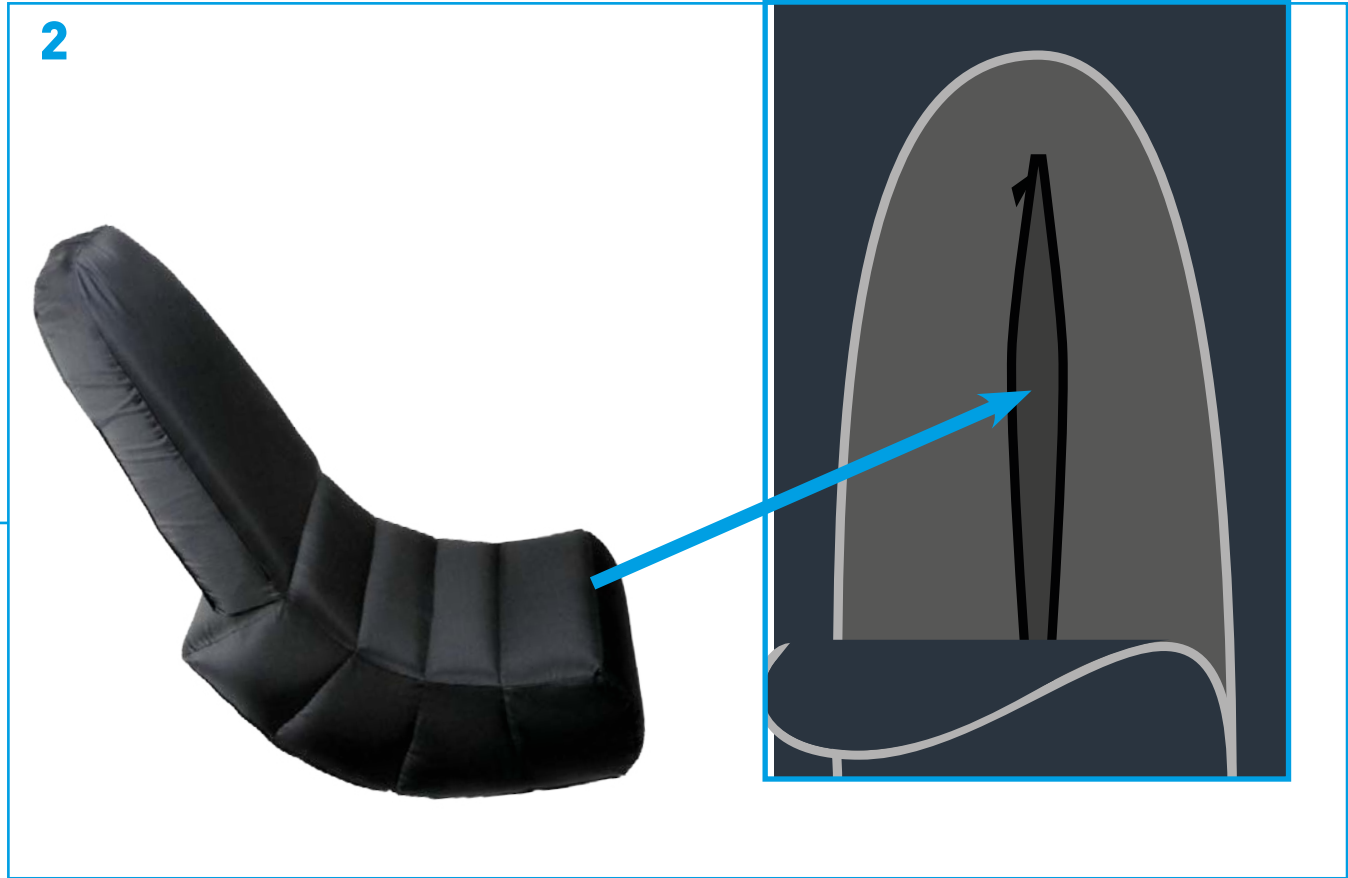
- 1 チェストベルトオートマチックバックル
- 2 セーフTバー
- 3 レッグベルトバックル
- 4 チェストベルト調整ロープ
- 5 リクライニング調節
- 6 肩ベルト調節

タイオプスるカラビナ:

ジュラ製カラビナ30mm(商品コード:MAILCOMOUS30)

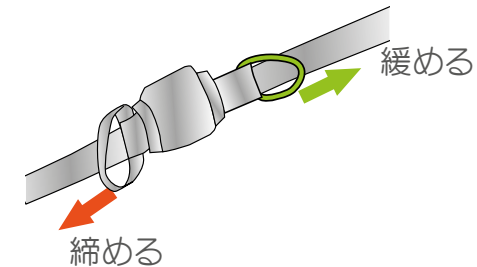


バンプエアーの組み込み



A リクライニング角度調整

リクライニング角度はコードを締め(より直立した姿勢)たりテープを緩めたり(より寝そべった姿勢)して調整することができます。



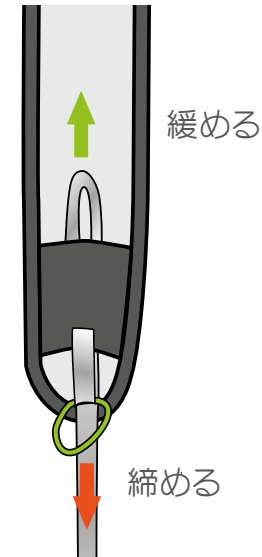
B 肩ベルトの調整

コードを下に引くことでベルトは締まり、テープを上を持ち上げることで緩めることができます。

肩ベルトのサポートは快適性に大きく影響します。したがって正確に調整する必要があります。リクライニング角度と肩ベルトのサポートの適切なセッティングを見つけなければなりません。



寝そべった姿勢ではより肩ベルトが上体のサポートをするので快適性に影響を与えます。



C チェストベルトの調整

この調整はABS(アンチバランスシステム)に影響を与え、その結果ハーネスの総合的な安定性にとって重要になります。

締めればそれだけ安定性は増し、緩めればそれだけ安定性は減少しますが体重移動がしやすくなります。

チェストベルトを締めるには:

右腕をライザーの前を通して左側のカラビナをつかみます。

右腕を右に引きカラビナ間距離を縮めながら、ロープループを左手で左に引きチェストベルトの長さを短くします。

チェストベルトを緩めるには:

左腕をライザーの前を通して右側のカラビナをつかみます。

左腕を左に引きカラビナ間距離を縮めながら、ロープループを右手で右に引きチェストベルトの長さを長くします。

プレフライトチェック



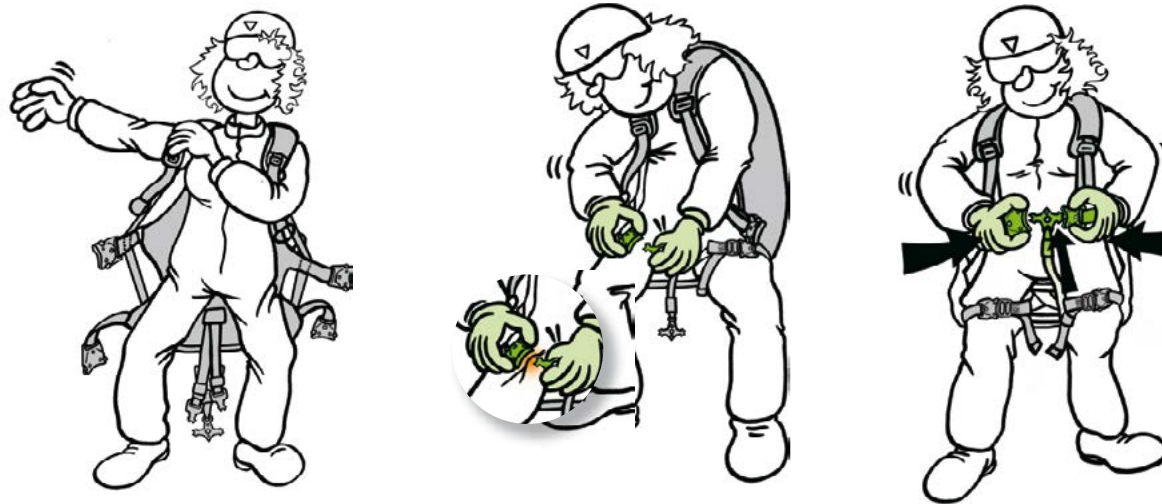
- ハーネス及びカラビナが損傷していないかチェック
- レスキューグル(オプションのフロントレスキューコンテナを使用している場合)のケーブルが確実に、クローズループを
通っていてコンテナが正しく閉められているかチェック
- 自分に合ったセッティングが変わっていないかチェック
- 全てのファスナーおよびバックルが正しくしめられているかチェック
- アクセル(オプションを装着している場合)が正しく調整されグライダーに接続されているかチェック
- カラビナがグライダーとハーネスを正しく締結し、ゲートが確実に閉まっているかチェック
- 全てのバックルが正しく確実に締結されているか、バックルを両側に引っ張って確認します。バックルにテープ、ロープ、ライン、
生地などが挟まっていないか確認します。

テイクオフ

気象条件を慎重に見極めた後、フライトすることを決断したらハーネスを装着します:



- ベルト(レッグ、セーフT、チェスト)のバックルを確実に締める。
- 全てのバックルが正しく確実に締結されているか、バックルを両側に引っ張って確認します。バックルにテープ、ロープ、ライン、
生地などが挟まっていないか確認します。
- グライダーのサスペンションラインやその他障害となるものがレスキューグルに絡まっていないか特に入念に確認します。



- テイクオフ直後は立ち姿勢を保ち、斜面から十分離れてからハーネスに腰を入れ座ります。



斜面近くでは決してブレークトグルから手を離さないように。

空中



カラビナ間距離は気象条件に合わせ、グライダーメーカーのガイドラインに沿って調節してください。

アクセルの使用

グライダーが潰れるリスクが増大するのでアクセルの使用は十分注意して行う必要があります。



アクセルは、乱気流により敏感になるので、大気が安定している条件で斜面から離れた状況でのみ使用してください。アクセルバーを通してアクセルロープのテンションが減少したと感じたら、すぐにアクセルを戻し、僅かにブレークを当ててください。そうすることで潰れるリスクを軽減することが出来ます。



ハーネスに座るためにアクセルを踏み込まないように（アクセルはフットレストではありません！）。潰れが起きるリスクがあります。



アクセルを使用するには、一方のかかとで1段目のアクセルバーを捉え、踏み込みます。その後もう片方の足を添えて安定させるか、2段目のバーに足をかけさらに加速します。アクセルバーの踏み込みは左右均等になるようにします。アクセルを戻すには、加速した時と反対に踏み込んだ足をゆっくりと緩めてアクセルバーから足を離します。

ランディング



ランディングアプローチに際しては常に、気象コンディション並びにランディング場所に合わせて十分高度に余裕を持って行ってください。ランディングアプローチに入ったら急激あるいは過激な操作をしないように注意してください。常にハーネスから腰を出し立った姿勢を取り、必要ならば着地と同時に走り出せるように準備して、風に正対して着地します。

ファイナルアプローチに入ったら気象コンディションに合わせて出来るだけ速度を速く保ちます。地面が近づいてきたらブレークを漸進的に引下げ、最後に着地するときに目一杯引き下げます。ブレークを引き下げるのが早すぎたり急激すぎたりすると、急上昇したり失速したりして大変危険です。タイミングには十分気を付けてください。

強風時でのランディングに際しては、着地と同時に体を半ひねりしグライダーに向き、ブレークを左右均等に引きながらグライダーの方向へ近寄ります。

着座姿勢のままランディングしないこと、大変危険です。

Using the reserve parachute

Throwing the reserve parachute.



It is strongly recommended to frequently check your reserve parachute handle location while in flight. This exercise should be executed instinctively and will increase your chances of a successful parachute extraction in case of an emergency.

Estimate your AGL (Altitude Above Ground Level) which if high enough may make it worth trying to bring your wing back to a normal flying configuration. If in doubt quickly deploy your emergency parachute.

Deploying a rescue parachute should only be done in an emergency.



With a strong lateral and then vertical tug, pull the handle towards you and then throw the parachute away from you (including the container and its handle) toward a clear unobstructed area of the sky. As soon as the parachute deploys, bring as much of the glider as possible toward you by pulling symmetrically on the "C" or "D" risers or on the toggles/brakes.

Be prepared to land by adopting an upright position with knees together and legs slightly bent. Prepare to roll down, hands on your chest, ankles together with pivoting hips and shoulders in a Paragliding Landing Fall (PLF) configuration.

Towing

To takeoff under tow you must be equipped with a quick release specially designed for the task. Connect the towing release system to the main carabiner attachment points in accordance to manufacturer recommendations. Before towing you should consult with a competent towing outfit about safety recommendations.

Mandatory controls

Mandatory biannual inspection.



- Ascertain parachute deployment functionality by pulling the handle to activate a clean POD extraction sequence.
- Inspect the harness for wear and tear.

Annual check



- An annual deployment and repacking of the reserve parachute must be conducted by competent and certified personnel.

Harness cleaning and maintenance.

It is a good idea to clean your harness from time to time. We recommend using a brush and soft solvents only (soap or mild cleaning agents).

Rinse thoroughly. Never use aggressive chemicals such as strong solvents which could be harmful to the fabric, webbings, stitching and weaken the overall integrity of the harness.

The zippers should be lubricated from time to time using a silicon spray.

If you regularly use your harness in a dusty environment (dirt, sand , etc...) we advise you to regularly check and maintain your carabiners and buckles : clean them with a mild detergent, then, blow-dry them fully but **DO NOT LUBRICATE !**

Prior to using them conduct a thorough carabiners and buckles checkup to insure their full functionality.

If you use your harness in a marine/sandy/salty environment, pay particular attention to your gear and follow a regular rigorous maintenance routine.

If your air bag is damaged, have it professionally checked and repaired if necessary.

Storage and transport.

When not in use your harness should be stored inside your paragliding backpack in a dry cool and clean place protected from UV exposure. If your harness is wet please dry it thoroughly before stowing it away.

During transport protect the harness against mechanical or UV deterioration (use a bag). Avoid long transports in wet conditions.

Life-span



Once every two (2) years a thorough harness inspection must be conducted :

- Webbing wear and tear (no excessive wear nor rip beginning or unwanted folds).
- Buckles and carabiners (functionality wear and tear).
- The BUMPAIR integrity (especially after a strong impact), in other words, no holes, tears or rips.



The threads and fabric used to manufacture the MINIMAX BUMP were specifically selected for their quality and resilient capacities. However in particular instances such as long term UV exposure abrasion, contact with damaging chemicals, general wear and tear, the harness will need to be inspected at a professional certified repair facility. Safety comes first!



The self-locking carabiners are **NEVER** to be used for any activities other than paragliding.

Repairs

In spite of using the highest quality products used for manufacturing, it is possible for your harness to deteriorate through general use. If showing any sign of wear and tear it should be sent for inspection and/or repairs at a professional certified facility.



SUPAIR offers an extended warranty period reaching beyond the product standard protection plan against manufacturing defects. Contact us either by telephone or by E-mail sav@supair.com to receive a quotation.

Hardware & Parts

- Zicral 30 mm carabiners. (réf. : MAILCOMOUS30)
- Carbon seat plate
- « ALT3 » Reserve parachute handle (POIALT3)

Materials

Fabrics

Polyamide 210D RIPSTOP

Straps

Polyester 25mm and 28mm (1250 daN)

Polyamide 15 mm, 20 mm, 25mm et 40mm

SUPAIR manufactures its harnesses in Europe. Most of the components used are Made in Europe.

Recycling

We have minimized our manufacturing footprint by carefully selecting environmentally friendly materials; most of our components are recyclable.

If you estimate that your MINIMAX BUMP has reached the end of its life-span, you can separate plastics from metals and dispose of them according to your community recycling rules. As for the fabric itself contact your local authorities to find out how to proceed to discard it.

Warranty

SUPAIR takes the greatest care in its products design and manufacturing and hence offers a five (5) year limited warranty from the date of purchase against manufacturing defects or flaws occurring during normal use. Any damage or degradation resulting from incorrect or abusive use, abnormal exposure to aggressive factors, including, but not limited to; high temperature, intense sun exposure, high humidity, excessive abrasion, etc, will invalidate this warranty.

The safeguards incorporated in the SUPAIR harnesses are guaranteed for use in temperatures averaging (-10 ° C to 35 ° C). The lifespan of foam protectors is 5 years or limited to three substantial impacts. If an air-bag protection is used instead, check for damage.

Disclaimer



Paragliding is an activity requiring specific skills and sound judgement. Learn how to fly within the environment of a certified paragliding school. Carry an insurance policy with you in addition to your pilot certification. Always mind and gauge your personal skills against the weather conditions of the day. Better be safe than sorry ! SUPAIR can not be held responsible for your paragliding decisions or activities.



This SUPAIR product has been designed exclusively for paragliding. Any other activity such as skydiving or BASE jumping is absolutely forbidden.



It is essential for you to wear a suitable head protection (certified paragliding helmet), adequate footwear and the right clothing for the activity. Moreover carrying a reserve parachute connected to your harness in flight is highly recommended.

Pilot's gear

CE certification : About the paragliding harnesses protection

We want to inform you and let you know that no harness protection can guarantee a complete protection against injury. In particular, the back protector which does not prevent potential injuries to the spine or pelvis.

Moreover, only parts of the body covered by the air bag may benefit from protection against potential impacts.



Warning, any modification or misuse of the protection can dangerously alter its performance and compromise the integrity of the safety device.

Protection is ensured only when the protective elements are present and properly installed. Thus, when the protection is removable, check that it is correctly positioned.

Your harness protection CE conformity labeling is certified by the following laboratory :

CRITT Sport Loisirs **nr. 0501**, Z.A. du Sanital, 21 Rue Albert Einstein, 86100 Châtelleraut – FRANCE

This page will help you to record all the life stages of your MINIMAX BUMP harness.

Serial number :

| | |
|----------------------------|--|
| Purchase date | |
| Owner's name | |
| Name and stamp of the shop | |
| | |

| | |
|---------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> Care | |
| <input type="checkbox"/> Resale | |
| Workshop's name/ Buyer's name | |
| | |

| | |
|---------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> Care | |
| <input type="checkbox"/> Resale | |
| Workshop's name/ Buyer's name | |
| | |

| | |
|---------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> Care | |
| <input type="checkbox"/> Resale | |
| Workshop's name/ Buyer's name | |
| | |

| | |
|---------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> Care | |
| <input type="checkbox"/> Resale | |
| Workshop's name/ Buyer's name | |
| | |



SUPAIR-VLD

Parc Altaïs

34 rue Adrastée

74650 Chavanod, Annecy

FRANCE 45° 54.024'N / 06° 04.725'E

info@supair.com

+33(0)4 50 45 75 29



SUPAIR
LIFE IS IN THE AIR